

BLDG NEWS

メンテナンス

VOL.251

3月号

平成22年(2010)

愛知

発行・編集 社団法人愛知ビルメンテナンス協会広報イメージアップ委員会／E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp URL(アドレス) http://www.aichi-bma.jp
〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-31 栄町ビル6階 TEL 052-972-1451 FAX 052-972-1452

・ 今月の視点 ・

私共ビルメンテナンス業の業界の実態と、今後の動向について毎年実態調査が行われています。すでに皆様もビルメンテナンス誌を読まれて御承知のことと思いますが、第40回実態調査の一部前編報告にもあります様に、経営環境の急変を反映した調査結果となっており、今後の業界の動向に非常に参考になる調査結果がでていきます。未だお目通しでない方はぜひ御一読願えればと思います。

世界も日本もチェンジの時代と言われますが、三年前のサブプライムローン問題による金融危機が始まり、その後リーマンショック、ドバイショックと世界経済が大きく揺れる中、なおその状況から抜けきれないでいる現在の経済状況であります。日本においても為替レートの円高、デフレ宣言もされている状況にあり、長い不況のトンネルは明るさも見えてこない五里霧中の経済下ではないでしょうか。業界もデフレの中で長いこと厳しい状況下にあり、改善の兆しがなかなか見えてこない現状と価格低下の波は冷徹に容赦なく、押し寄せてきておりますが、今後も尚続く状況にあると言わざるを得ません。しかし、世界的に

も社会的にも環境を重視する方向で動き出している中、現時点では不明とされますが、省エネに関連する環境の中で私達の仕事

が社会の注目を集め、一層評価される産業になれる為にもチャレンジを怠らず、さまざまな取り組みが必要と思われます。又、このデフレ不況下で雇用問題は業界の体質である「人手不足」解決のチャンスでもあり、環境問題は、ビルのエネルギー管理を担当する我々専門業者の大きなビジネスチャンスを与えてくれています。

企業の生存をかけ、企業として「改革・変革」の発想を持って、このチャンスを逃すことなく、社会インフラの一端を担うビルメンテナンス業の役割(例えば新雇用産業の創出、省エネに対する貢献等)を果たすこと

が大切であり、この変化の時代を乗り越える最善の道ではないでしょうか。

産業構造の変革に伴い各業界企業の変革も加速されて急変していく中、我々業界もこれに応え社会的にも認められる企業体質に変化させていく必要があるのではないのでしょうか。

変化を迎えた経営環境

(社)愛知ビルメンテナンス協会理事
経営・ビジョン委員会委員長

山本 幸男



労働安全衛生大会

平成22年1月29日(金)平成21年度労働安全衛生大会が愛知労働局の後援により名古屋国際会議場において開催されました。

当日は、93社129名の方が参加されました。勝野会長と来賓の愛知労働局労働基準部安全課地方産業安全専門官高橋建次様のあいさつの後、労働安全衛生に関するポスターデザイン、ヒヤリハット事例、及び標語の表彰が行われました。



今年度は、ポスターデザインの部に17点、ヒヤリハット事例の部に85点標語の部に119点の応募がありました。

昨年の12月22日、労働安全衛生委員による厳正な審査の結果、つぎの方々が栄えある表彰を受けられました。

ポスターデザインの部

- 最優秀賞 渡辺 マリコ (コニックス(株))
優秀賞 藤原 松代 (ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株))
佳作 佐藤 春雄 (大成(株))
佳作 林 さかえ (セントラルメンテナンス(株))

ヒヤリハット事例の部

- 優秀賞 桑原 幸男 (ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株))
同 田上 豊 (コニックス(株))
同 知念 美代子 (セントラルメンテナンス(株))

標語の部

- 優秀賞 辻村 賢治 (昭和建物管理(株))
同 梶山 千絵子 (昭和建物管理(株))
同 金子 竜輔 (コニックス(株))
同 桂川 治郎 (ジェイアール東海総合メンテナンス(株))
同 荒川 好子 (ビューテック東海(株))



引き続き2題の講演会が実施されました。

前半の講演は、「労働災害の発生状況と防止対策」の内容で、愛知労働局労働基準部安全課地方産業安全専門官の高橋建次氏の約1時間の講話があり、約10分間の休憩後、後半の講演は、「交通安全について」の内容で、愛知県県民生活部地域安全課交通

安全グループ課長補佐二ノ宮康延氏の約50分間の講話がありました。

平成21年の労働災害による死亡者は大幅に減少しましたが、引き続き労働災害を減少させるための傾向と対策、また、通勤災害等を防止するための傾向と対策をそれぞれわかりやすく話され、参加者の皆さんに大変有意義な講演となりました。

最後に当協会労働安全衛生委員長の堀口理事からご参加の皆様へのお礼と「今年度は、例年と少し内容を変更し、タイムリーな内容の二つの講演を実施しました。今後とも大会の内容を熟慮していきたいと考えています。」との閉会のあいさつで終了しました。

職場における安全衛生水準の向上や労働災害の一層の減少につながることを大きく期待させる大会でした。



こども絵画コンクール愛知協会長表彰式

(社)全国ビルメンテナンス協会等が実施する「第3回ビルメンこども絵画コンクール」に当協会として協賛・応援し、その応募作品のうち愛知地区からの応募作品を表彰することにより、当地区におけるこどもたちが豊かな感性と想像力を一層育むことを助長する目的で、本年度「こども絵画コンクール愛知協会表彰」を実施しました。

同コンクールは昨年の8月から9月中旬にかけて、広く全国から募集されました。全国から8,166点の応募があり、このうち、愛知県内からの214点の応募作品を対象として当協会において審査を行い、最優秀作品の「会長賞」に輝いた名古屋市立星ヶ丘小学校2年生の池井戸大湧君の表彰式が行われました。

平成22年1月28日(木)10時30分から同校応接室で行われた表彰式には、渡辺校長先生と担当の丹羽先生の立会のもと、当協会から勝野会長、吉田理事(広報・イメージアップ委員長)、小池事務局長の3名が同校に出向き、勝野会長から池井戸大湧君に会長賞の賞状と賞品が贈られました。



会長賞 池井戸大湧君の作品



第24回 愛知県建築物 環境衛生管理研究集会

平成22年2月4日(木)名古屋市教育センターにおいて、一より快適な建築物の環境をめざして—をテーマに関係団体、行政、一般の方1,037名が参加し研究集会が盛大に開催されました。

当協会の所属会員各社から213名の参加がありました。

午前中8名の発表があり、このうち当協会から赤門ウイレックス(株)の坂本準一氏が「チャタテムシの防除対策例について」、日本空調サービス(株)の辻 成人氏が「遮熱フィルムによる日射量低減効果の実測」について、それぞれ発表されました。

昼の休憩後、特別講演として、「クリニックにおける統合医療の実践〜痛みと『痒み』へのアプローチ〜」と題して広瀬クリニック院長広瀬滋之氏の講演がありました。

「現代医療は、アメリカ医学が基本にある医療である。しかし、隣の韓国では、韓医学の大学を卒業した医師は普段から鍼や漢方薬を使った医療を実践している。中国や台湾でも同様である。ヨーロッパのドイツでは、ハーブの医療は必須である。わが国では、8年前から全国の大半の大学医学部で、わずかながら漢方や鍼灸の講義や実習が行われるようになりました。私自身は、これまでの標準的な現代医療を基本に、漢方などの伝統的な医療や医学的根拠のある民間療法などを取り入れて、より人に優しい医療を応用したものを統合医療と考え、クリニック設立以来『科学物質過敏症の人でも安心して受診できる院内のアメニティの確立』を始め7つのコンセプトのもと、いろいろな医療にトライし、この構築を目指して様々な医療手段を確立してきました。」と話され、20年間の経験を通して、様々な角度から検証された話をされました。

その後9名の発表があり、当協会からは、名古屋ビルサービス(株)の今井政治氏が座長を務められました。17名の発表は研究発表抄録集に纏められています。



普通救命講習会

平成22年1月21日(木)伏見ライフプラザの名古屋市応急手当研修センターにおいて(社)愛知県警備業協会ビルメン支部主催の普通救命講習会が行われました。

第一線で活躍する警備員の皆さんは、救命行為が必要な場に遭遇することが想定されるため、ビルメン支部の行事として昨年度に引き続き、第2回目の講習会が22名の参加のもと実施されました。

当日は、ビルメン支部の堀口支部長の「皆さんは、日頃から熱心に業務に精励しておられるところですが、本日の講習内容は、救命行為の必要な時に大変役立ちますので、是非しっかりと習得して

いただきたいと存じます。」とのあいさつのあと、同センターの指導員の個別指導により、まずは①119番通報②AED③医師や多数の人の協力依頼後、気道確保、呼吸確認、人工呼吸2回、胸部圧迫30回などの心肺蘇生法や、AEDの取扱い、止血応急手当の方法などについて、DVDによる学習と人形を使った体験により、訓練が行われました。

参加者は、終始熱心に取り組み、今回のみなさんは、なかなか積極的で、開始から割合声も出て、講習内容の知識・技術の習得がスムーズだったようでした。しっかり救命の技法が身に付いたようでした。効果測定の結果、全員に修了証が交付されました。受講者の皆様の今後一層のご活躍が期待されます。

次回以降も開催が予定されますので、関係の皆様も積極的にご参加いただきたいと思います。



理事会・各種委員会等

第8回 理事会

開催日時 平成22年2月22日(月)13時30分～

開催場所 協会事務局 会議室

出席者 勝野会長始め13名の出席を得て勝野会長が議長となり審議を行った。

主な審議事項

- ・予算総会並びに夏期研修の場所について
- ・平成22年度各委員会担当事業計画(案)について
- ・予算の流用について
- ・当面の諸問題について
- ・委員会報告
- ・全協報告
- ・中部北陸地区本部報告

第9回 広報・イメージアップ委員会

開催日時 平成22年2月19日(金)10時～

開催場所 協会事務局 会議室

3月号の構成について検討を行った。

会員の動き

3月1日現在会員数 普通会員 132社 賛助会員 20社

普通会員

年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
22.2	御園サービス(株)	登録者	旧 取締役営業部長 奥田朝則 新 常務取締役 奥田朝則
		TEL	旧 (052)916-6777 新 (052)916-6771
		FAX	旧 (052)916-6778 新 (052)916-6772

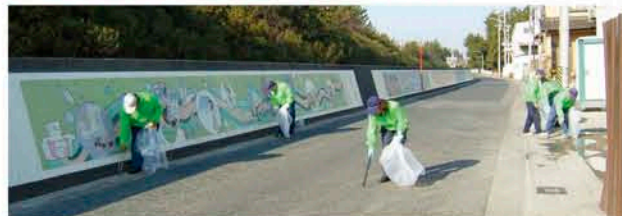
我社の社会貢献事業

株式会社 朋栄社 チーフ 加藤 安次郎

当社は西三河を中心にビルメンテナンス業及び一般廃棄物、産業廃棄物収集等を行う会社として、碧南市に創業いたしました。現在では官公庁やショッピングセンターの清掃や事業系廃棄物の収集、リサイクルを中心に事業を行っております。当社では会社のスローガンとして「文化に貢献、社会に奉仕」を掲げ、日々業務にあたっております。また、通常の業務以外にも毎年2回碧南市にて実施される「クリーンピーときれいな街づくり」に参加をして市内の環境美化活動に積極的に参加をしております。このような社会貢献活動を通して、当社の業務に携わる従業員がよりいっそう社会に必要とされる人材へと成長できればと考えております。

現在では、会社の有志のメンバーにより毎月最終金曜日、業務の終了後当社の工場の近隣にて清掃活動を実施する

ようになりました。当初は工場の周りだけを清掃していましたが、活動を続けていくなかで、徐々に清掃範囲がひろがり近隣の住民の皆様からも声をかけていただけるようになりました。また、このような清掃活動を行うことによって従業員の意識も変わってきました。このような社会貢献活動を通して会社のスローガン「文化に貢献、社会に奉仕」の精神を実感し、従業員一人一人が行動できればよりよい社会貢献ができるようになると考えております。



平成22年4月の予定

卯月

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
1	木		17	土	
2	金		18	日	
3	土		19	月	
4	日		20	火	
5	月		21	水	
6	火		22	木	
7	水		23	金	
8	木	現任警備員法定教育(県警備業協会 教室)	24	土	
9	金	〃	25	日	
10	土		26	月	
11	日		27	火	
12	月		28	水	
13	火		29	木	昭和の日
14	水		30	金	
15	木				
16	金				

賛助会コーナー

角度が決め手!

コーナーの汚れを効果的に掃き出す
EFコーナーブルーム

隅までしっかり届く形状

コーナーに対して直角に植毛されたブラシが隅のゴミを力強く掃き出す。

本体が壁に当たりにくいので不快な「コツ!コツ!」音もしません。

しっかり掃き出す!

柔らかい毛
軽いゴミを掃き取る。

硬い毛
コーナーに溜まったゴミを掃き出す。

TERAMOTO

株式会社 テラモト 名古屋支店

H P <http://www.teramoto.co.jp/>

住 所 / 〒460-0024 名古屋市中区正木1丁目3番12号 TEL052-324-8331 FAX052-324-8335

事務局だより

来月はもう「卯月」(4月)ですね。

うらうらと長閑な陽気。桜をはじめとする様々な花だよりが各地から届き心弾む季節です。春爛漫。都会においてもあちらこちらで花に出会えます。野に山に遊べば若々しい草の色も目にまぶしくて、すべてが生命力に満ちあふれて輝いてくる季節となります。

それでは、少し早目の花情報を…3月～4月にかけて「椿」が幸田町の本光寺、「四季桜」が豊田市の前洞。3月の下旬にかけて「水仙」が七宝町の水仙ロード。3月下旬～4月上旬にかけて「かたくり」が豊田市の香嵐渓、「桜」が新城市の桜淵公園などがとれあえずの見所だそうです。会員の皆様もお出かけされてはいかがでしょうか?